

## 2008 年度学会彙報

### 1. 総会報告

出席者 29 名 (委任状 33 名) 定足数を超え、総会が成立しました。

- ・定款案・細則案が承認された。
- ・予算案が承認された。
- ・役員：以下の役員が承認された。

< 理事 >

会長 城生 佰太郎

副会長 池田 潤

理事 三浦 弘

理事 福盛貴弘 (事務局長)

理事 島田 武

< 監事 >

監事 橋本邦彦

監事 渡辺 勉

### 2. 設立記念大会報告

参加 34 名

※基調講演

演題：脳波を使った音声・言語研究——発出者の視点から受容・認知の視点へ

演者：城生 佰太郎 (筑波大学)

- ・モンゴル語母音調和の事例を元に、生理・音響音声学の限界から聴覚音声学を中心とした受容・認知の視点に向くべきであることを説いた。

※パネルディスカッション「実験と記述の架け橋」

パネリスト：(氏名「副題」、発表順)

福盛貴弘 (大東文化大学)「実験言語学の方向性」

池田 潤 (筑波大学)「実験文字学の構想」

橋本 修 (筑波大学)「実験的方法・実験による成果の日本語史研究への援用」

司会進行：島田 武 (室蘭工業大学)

### 3. 第 1 回理事会報告

出席者：城生佰太郎、三浦弘、福盛貴弘 (委任状 2 名)

日時：10 月 2 日 18:30~20:00

場所：専修大学神田キャンパス

- ・学会誌の名称・内容に関する検討が行われた。
- ・学会通信を「JELS 通信」とし、メールで配信することを決定した。
- ・現在の財務状況を確認した。
- ・学会誌の編集委員長を島田武氏に委嘱した。

#### 4. 編集委員会報告

※島田武（委員長）、福盛貴弘で原案を作成し、理事にメールで諮り承認を受けた。

・雑誌名は、『実験音声学・言語学研究』（Research in Experimental Phonetics and Linguistics）に決定した。

・投稿規程を決定した。

\*会費納入のお願い

正会員の方は、年度内に年会費 2,000 円を以下の口座に納入してください。

ゆうちょ銀行

口座番号 00120-9-262862

口座名義 日本実験言語学会

\*会員情報の変更に関して

<http://www.lingua.tsukuba.ac.jp/~ippan/JELS/>に会員情報変更用の書類を UP しておきます。情報に変更がある方は、書類に必要事項をご記入の上、事務局宛にお送りください。

---

実験音声学・言語学研究（Research in Experimental Phonetics and Linguistics）

発行者 : 日本実験言語学会

305-8571 つくば市天王台 1-1-1 筑波大学文芸・言語専攻内池田潤研究室気付

電話・ファクス 029-853-4410 jels@lingua.tsukuba.ac.jp

<http://www.lingua.tsukuba.ac.jp/~ippan/JELS/>

編集委員：島田武（編集委員長）、福盛貴弘

2009 年 3 月 24 日刊行

ISSN 1883-6763